

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

平成29年4月17日

助成事業実施報告書

団体名 NPO 小平ハートビーツ
代表者・役職名 氏名 理事長 瀬恒 恒 雄

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

若者の社会参加に必要なABCを学ぶ支援事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社協主催の精神保健福祉ボランティア講座受講生を母体として平成9年9月精神保健福祉ボランティアの会(愛称、ハートビーツ)が発足。平成18年11月NPO法人小平ハートビーツに移行。現在会員数17名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

目的 日本が将来に向けた活路を見出すには、若者キャリアシップを築き、日本再生の社会的使命、ミッションを自覚する以外に道はない。
背景 英のEU離脱、トランプ政権や北朝鮮問題など、混乱化する世界情勢のなかで、日本は依然として長期低迷のまま。もはや問題放置は許されず

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

次の3つを柱に、人材育成事業を実施
1. 対話による認知行動療法実践講座(気づきと問題解決)
2. 7つの習慣・第8の習慣学習会(リーダーシップ人材の育成)
3. 地域と大学の大学生と市民のTALKする夏期NPOセミナー(新しい発見)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果 講座・学習会10回シリーズ、NPOセミナー3日間、参加者講座・NPOセミナー10名、学習会5名、2名獲得
成果 若者は社会人として生きる人生哲学について、多くの気づきとインパクトを与えた
社会的な変化 ①大学生と市民のTALKを通じて、大学教育の質的改善の必要を痛感した
②日本の認知行動療法について、口立セミナー開催を通して最先端にEQ(感情)からSQ(精神)への着眼を提唱した。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題 ①若者たちのインボイスに火をつけ、社会的使命、ミッションを自覚させる
②子育時代からの一貫した人材育成が求められる
今後の展望 大学と市民の連携により、人工知能を未来戦略に据えた新しい地域社会の創生をめざす

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

「めざす習慣づくり」

～7つの習慣学習会成果発表～

21世紀は人工知能と人間知がせめぎ合う時代。

“自分をつくる、社会をつくる、世界をつくる”

習慣づくりについて、一緒に考えてみませんか。

日時 5月26日(木) 10時～12時

場所 小平市福社会館第1集会室

(西武多摩湖線一橋学園駅下車北へ7分)

対象 どなたでも

定員 30名、参加費 無料

主催 NPO 法人小平ハートピア

後援 小平市社会福祉協議会

申込み TEL&FAX042-401-8833 永瀬

(この事業は真如苑助成事業です)

